

# 災害に備える - 「備蓄品」

相日防災株式会社 防災機材部

清水啓吾

# 老人保健施設における災害対策の考え方

- **リスクの想定**  
置かれている状況を把握し、どのような対応が必要か具体的に検討し、備蓄品を選定。
- **優先順位の決定**  
備蓄品の一括購入は、費用・備蓄スペースを考慮しても困難なため、徐々に買い足しを。
- **備蓄品保管場所の確保**  
防災倉庫設置のスペースがない場合はナースセンターの側に備蓄品を置いておくなど、分散して保管する。
- **備蓄場所と運用ルールの設定**  
どんな体制でどのように運用すべきかを想定し、備蓄場所と運用ルールを決めた上で購入を。

## 備蓄食料への考え方

- ①施設の方、全員に行き渡る量を準備する
- ②アレルギーに対応した物を備蓄する。
- ③加熱や水が必要なものかどうか、把握しておく。
- ④3日間の食料を用意する。
- ⑤賞味期限を揃える。(敢えて分ける場合もある。)

## なぜ3日間の備蓄を準備すべきか？

- 災害発生から72時間が、生存率が急激に低下する分岐点
- 72時間は、「救助活動の妨げにならないよう、」「二次災害の危険に遭わないよう、」自身の勤務先に滞在すべき。
- ライフラインの復旧・支援物資の供給も3日～1週間はかかると予想されるため。

# 保存水の備蓄

- 一人当たり、飲料用として1日3ℓが目安。
- アルファ米を食べる場合、調理用としての水も必要となる。
- 備蓄は500mlのペットボトルがおすすめ。

配布の手軽さ・一度に飲み切れる量である・給水袋の代替え  
としてもおすすめ

- 期限切れの水は、トイレ・手洗い・煮沸用に

## 備蓄食料の種類

- パンの缶詰やカンパンといった、乾物類(3～5年)
- お湯や水を使用するアルファ米・パスタ(5年)
- 開けてすぐ食べられるレトルトパック・お惣菜缶(3～6年)
- 長期保存に向いているフリーズドライ食品(10年以上・条件あり)

※それぞれの特徴を考慮して、備蓄を考えていくことが重要。

## 3日間の献立例 ※見積書参照

- 朝 パンの缶詰(350KCAL) + 野菜ジュース(80KCAL) + 保存水1ℓ
- 昼 アルファ米・レトルト食品(350KCAL) + 保存水1ℓ
- 夜 レトルトご飯(300KCAL) + 保存水1ℓ
- 間食 ようかん・クッキー(250KCAL)

お見積書の内容で、約1,200KCAL～の摂取ができる。

ご飯だけ、パンだけ3食食べることは困難であるため、数種類の食品を備蓄すると良い。

# おすすめ非常食 ①



- THE NEXT DEKADEシリーズ
- 水・お湯がいない使用
- 食物アレルギー27品目と貝類不使用
- スプーン付きで、皿不要

## おすすめ非常食 ②



- 新食感ベーカリー
- 賞味期限5年のパン缶
- 缶切り不要のプルトップ缶
- 太陽光に30分あてれば、  
より美味しく食べられる。
- 缶は容器代わりに



## おすすめ非常食 ③

- まつやのライスるん
- 水・お湯を使用するおかゆ
- 食物アレルギー27品目と貝類不使用
- スプーン付きで、皿不要
- 水の量の調整で、ご高齢の方でも食べやすいおかゆにも

# 嚥む力の弱い人へのおすすめは？



- 水量で3～7分粥まで調整可能
- べたつき、はりつきを改善した食べやすい使用
- 支援物資を食べられないご高齢者・小さいお子さん向けの商品

災害時における、  
炊き出し器の重要性



# 熊本地震における、炊き出し器の派遣

- 益城町総合体育館に滞在する、避難者への炊き出し支援を実施。
- 自衛隊からの支援は、おにぎりやパン等の食事が中心であり、温かい汁ものが作れる炊き出し器は重要である。
- 避難所の指定を受けている場合、備蓄食料だけでは足りず、各人が持ち寄った食材で調理する必要性が生じる。
- 熱交換器を用いれば、シャワーのお湯を供給できる。











## 災害支援を通じて感じたこと

- ご高齢の方・乳幼児用の支援物資の供給が十分とは言えない。
- 仮設トイレは設営されたが、車いすの方が使えるような配慮が無かった。
- 食材の持ち込みが多く、炊き出し器による調理がスムーズに行えた。
- テントで寝ている方も多く、寒さ・暑さへ対応も必要。
- 不特定多数の方が出入りするため、正確な人数の把握が困難。

# 食料以外のおすすめ防災用品

- 非常用トイレ・・・断水時、便器にかぶせて使用する便袋。凝固剤で固めて燃えるゴミで出せる。
- 衛生用品     ・・・体ふき用タオル・水を使わないシャンプー・ペーパー歯磨きなど
- 給水用タンク・・・給水車からの給水に使用。
- 炊飯袋        ・・・炊き出し器と合わせて備蓄するとよい。（お米を研がずに使える）
- 施設の備蓄スペース・現在備蓄されている物を把握し、必要なものを徐々に増やしていくことをおすすめします。



## 非常用トイレ

- どこでもトイレ 便リーナ
- 既存の便器に被せて使用。
- 20回・100回用有り
- 凝固剤により、匂いを軽減



## 体ふき用濡れタオル

- おふろですよ
- 1枚で全身をふける大判仕様。
- 長期保管可能で、肌への刺激が少ない、ノンアルコールタイプ。
- 本体容器は使用後も防災バケツとしても活用可。

## 災害時に求められる対応

- 入居者様へのサポート(食事・トイレ等のサポート)
- 地域の自治会との協定等を締結している場合、各避難者への対応も必要となる。
- 職員同士での連携が何よりも重要。防災訓練・炊き出しを通じて、備蓄品の使用方法と、食料の賞味期限の把握を。

## 防災用品・非常食の紹介

- インターネットショップ「あんしんの殿堂 防災館」にて、防災用品・非常食を掲載中。
- ご希望の非常食セットの作成も可能です。
- 未然に被害を防ぐための、転倒防止器具・飛散防止ガラスフィルムの工事も承ります。

The background is a light blue gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across the surface. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance.

# ご清聴ありがとうございました。

お問い合わせ先

相日防災株式会社 小田原本社

T:0465-44-3512 F:0465-44-3520